

令和4年12月定例教育委員会議事録

開 閉 日 時	令和4年12月26日 午後 3時00分開会 午後 4時10分閉会	
開 催 場 所	志木市役所 教育委員会議室	
委員の出席状況	出 席	柚木博教育長、八代豊教育長職務代理者 岩澤千恵子委員、上野幸子委員、飯田昌利委員
	欠 席	なし
説明のため出席した者の氏名・職名	今野教育政策部長、成田教育総務課長、島村教育政策部次長兼学校教育課長、土崎生涯学習課長、木村教育サポートセンター所長、吉成生涯学習課副課長、今学校教育課指導主事	
会 議 書 記	浦野教育総務課主任	
傍 聴 人	1人	
会 議 内 容	<p>議 題 第59号議案 特別支援学級の設置について</p> <p>協議事項 第3期志木市スポーツ推進計画について</p> <p>報告事項 令和4年度秋の非行・薬物乱用防止キャンペーン実施報告について</p> <p>その他</p>	

審議内容（発言者、発言の要旨）

○**柚木教育長**

令和4年12月定例教育委員会会議の開会を宣す。
傍聴希望者について、傍聴を許可した。

議事録署名委員に八代教育長職務代理者を指名した。
会議書記に浦野主任を指名した。

11月定例教育委員会議事録を各委員に諮り、承認された。

◎**教育委員会報告**

○**今野教育政策部長**

11月定例教育委員会後の教育委員会の主な動きを報告する。

- ・ 11月29日 令和4年志木市議会12月定例会開会
- ・ 11月30日 志木市教育委員会研究委嘱校研究発表会（志木中学校）
- ・ 12月1日 市内一斉授業研究会
- ・ 12月2日 志木市議会総括質疑
- ・ 12月4日 志木市青少年育成市民会議 秋の非行・薬物乱用防止キャンペーン
- ・ 12月7日 定例校長会議
- ・ 12月8日 志木市議会市民文教都市常任委員会
小中一貫教育先進校視察（八王子市立いずみの森義務教育学校）
- ・ 12月11日 市民武道大会（躰道大会）
- ・ 12月12日 第2回志木市複数・少人数指導体制推進事業検証委員会
- ・ 12月13日 志木市議会一般質問（15日まで）
- ・ 12月16日 第4回小中一貫教育推進委員会
令和4年度青少年育成埼玉県民会議表彰（青少年育成功労賞）受賞者表敬訪問
- ・ 12月21日 令和4年志木市議会9月定例会閉会
- ・ 12月26日 令和4年度志木市総合教育会議

令和4年志木市議会12月定例会について
教育委員会への一般質問の内容について説明

◎**第59号議案 特別支援学級の設置について**

○**柚木教育長**

第59号議案 特別支援学級の設置について、説明を求める。

○**島村教育政策部次長兼学校教育課長**

特別支援学級の設置について、担当より説明する。

○今学校教育課指導主事

宗岡第三小学校の自閉症・情緒障がい学級の立ち上げについて説明する。現在、宗岡第三小学校の知的障がいの学級に在籍している児童2名が、自閉症・情緒障がい学級への障害種変更を就学支援委員会に申し出たため、委員会で審議した結果、自閉症・情緒障がい学級で課題に向き合うことが必要と審議された。変更については保護者の意向とも合致しており、また、次年度に就学予定の児童もいるため、ここで新たに自閉症・情緒障がい学級の設置したく、お諮りするものである。

○柚木教育長

質問はあるか。

○全委員

なし。

○柚木教育長

第59号議案 特別支援学級の設置について、原案のとおりでよろしいか。

○全委員

異議なし。

○柚木教育長

第59号議案 特別支援学級の設置については原案のとおり可決された。

◎協議事項 第3期志木市スポーツ推進計画について

○土崎生涯学習課長

志木市では平成20年3月に「志木市スポーツ振興計画」、その後、平成30年度に「第2期志木市スポーツ推進計画」を策定し、すべての市民が、いつでもどこでもだれでも、生涯にわたってスポーツ活動が行えるよう、更なるスポーツ環境の充実を図ってきたところである。この計画が今年度で終了することから、令和5年度から5年間を計画期間とする「第3期志木市スポーツ推進計画」を策定するものである。今回は素案を作成したため、内容を担当より説明させていただく。

○吉成生涯学習課副課長

第2期志木市スポーツ推進計画からの主な変更点について説明する。はじめに、計画の基本的な考え方として、新たにSDGsの開発目標から、「3.すべての人に健康と福祉を」「4.質の高い教育をみんなに」「17.パートナーシップで目標を達成しよう」を加えた。次に、国の「第3期スポーツ基本計画」において、新たな3つの視点「つくる／はぐくむ」、「あつまり・ともに・つながる」、「誰もがアクセス」が追加されたため、本市の計画でも盛り込んだ。つづいて施策についてであるが、「スポーツを始めるきっかけづくりの充実」の取り組みとして、動画配信の活用についてを追加した。これはアンケート調査において、自宅でYouTubeなどを見て運動をしているという回答が見られたことによる。次に、「気軽にスポーツができる場づくり」として、若い世代を中心に親しまれている

アーバンスポーツなどの新しいスポーツを楽しむ機会の創出を追加した。アーバンスポーツは、街中で行う競技で、オリンピックで話題になったスケートボードや BMX などがある。若い世代のスポーツ実施率が低いというのもあり、実施率を上げるための環境整備もしていった方がよいという観点から今回追加した。最後に、「身体を動かす習慣と健康づくり」として、現在、健康政策課で実施している「いろは健康ポイント事業」の更なる充実を図るため、項目を追加した。

○今野教育政策部長

その他、市民会館・市民体育館複合施設の整備計画についても新たに追加している。

○八代教育長職務代理者

アーバンスポーツについて、市では今後5年間にどの程度まで整備していくのか、どういった種目をどこでやっていくのか、考えを教えてください。

○土崎生涯学習課長

アーバンスポーツの中でも特にスケートボードの人気があり、秋ヶ瀬運動場施設等を活用して整備できないかという声もある。事業判定会でも説明させていただいたところではあるが、スケートボード場については大きな工作物等が必要なく、コンクリートの場所があれば整備できるということもあり、設置してはどうかというところで進めているところである。この先については、まずはアーバンスポーツについてどのくらいのニーズがあるかを把握したうえで進めていくべきものと考えているので、より詳細なニーズの把握をして、方向性等を検討していきたいと考えている。

○今野教育政策部長

計画策定に先立ってアンケートをとった中で、今後やってみたいスポーツの項目で、比較的スケートボードの要望が高かった。

○飯田委員

秋ヶ瀬公園の利用者が少ないように見え、場所的な問題があるのかなと思っているが、一つの考え方として、「身近で手軽に」もスポーツに取り組みやすいのかなと思う。例えば、ゴルフは朝早く起きて、3～4人集まらなければならない、お金もかかるとなると行きづらくなるというのがある。YouTubeを見て、好きな時に自分一人ですることができるのもスポーツだと思う。新しい競技もあるが、身近で気軽にというキーワードも必要なのではないか。また、20歳の人たちの取り組みについては、そういう集まりの時にアピールしていくのも必要だと思うし、町内会活動は、高齢になりそろそろ離れたたいという意見も聞くので、高齢者向けの活動を町内活動の中に組み込む提案をして、町内会館を活用するというのも手ではないか。

○土崎生涯学習課長

計画については、記録や勝敗を競う競技スポーツのみならず、気軽にできるウォーキングや健康運動等もスポーツの定義として考えている。気軽にできるような取り組みをしていきたい。また、いろいろな角度からニーズを把握したいと思う。

○八代教育長職務代理者

運動部活動の充実については、体育協会などをお願いして、学校施設を利用して移行できるかなと思っているが、連盟が使っている場所を中学生が部活動で使っていけるようにお話をしている。文科省からは、来年度からは土日、その後は平日もという話もある。支援していただいて、スムーズに民間移行できるよう工夫していただけるとありがたい。また、夜間照明については宗岡二中が周辺環境的に整備に適していると思うが、いろいろな意見も踏まえて検討いただけるとよいと思う。

○土崎生涯学習課長

1月にパブリックコメントを実施予定であり、意見を踏まえたうえで計画を策定していく。

○柚木教育長

今日のこの場の意見を踏まえて案を作成し、パブリックコメントを実施する。その後、策定についてお諮りさせていただく。

○吉成生涯学習課副課長

意見公募は1月12日から2月14日までとなっている。閲覧場所は生涯学習課、市民体育館、秋ヶ瀬スポーツセンターなどの公共施設等と市のホームページで、広報1月号にて周知予定である。

○飯田委員

部活動の問題については、他の自治体でも受け皿がなくて困っているとの声がある。今回の計画では民間を利用したい、民間とともにやっという流れも出てきた。連携をし、中学校のクラブ活動の指導という部分も見えてくると一つの流れが出来てくるかなと思う。今年から全小学校の水泳授業を民間にお願いしたところで、保護者もそういうものにアレルギーがなくなってくるのではないかと考えている。そういうものを見ながら変えていく必要もあると考える。

○島村教育政策部次長兼学校教育課長

地域移行の先進地視察も行ったが、なかなか苦労しているようである。目標はあるが、緩和方向になっているので、流れを見ながら進めていきたいと思う。

◎報告事項 令和4年度秋の非行・薬物乱用防止キャンペーンの実施報告について

○土崎生涯学習課長

令和4年度秋の非行・薬物乱用防止キャンペーンの実施報告を行う。主催は志木市青少年育成市民会議で、12月4日開催の市民まつりに日程を合わせ、旧村山快哉堂付近で、構成する市民団体の皆さんが啓発物資の配布を行った。参加者は17団体、個人会員1名の計33名で、啓発物資のポケットティッシュについては、平成31年度に職場体験に来た志木第二中学校の生徒が作成したデザインを使用した。夏に続きコロナ禍での実施であったが、有意義なPR活動にできた。

◎その他

小・中学校2学期の様子等について

○島村教育政策部次長兼学校教育課長

小・中学校については、コロナ前の様子に戻ってきていたが、11月中盤以降コロナが増えてしまい、3クラスが学級閉鎖のまま冬休みに突入してしまった。通知表については、中学校は本日一斉に呼んで渡し、小学校は個別に渡したところである。2学期の小学校においては、研究発表がしっかり行われた。各学校では、土曜参観、持久走大会、修学旅行等の行事、PTA活動も実施でき、運動会は半日実施が定着してきた。中学校においては、部活動は、志木中学校では、吹奏楽部が東日本コンクール金賞受賞、アンサンブルコンテストの打楽器八重奏で西関東大会出場、管楽八重奏で県大会銀賞、男子バレー部と陸上部が新人戦県大会出場、駅伝は男女とも県大会出場となった。志木第二中学校はバドミントン部、卓球部が新人戦県大会出場、吹奏楽部はアンサンブルコンテストで県大会銀賞となった。宗岡中学校では、男子テニス部、卓球部が新人戦で県大会に出場した。各学校では、合唱祭・音楽祭等が復活し、志木二中では3年生の保育実習を行えた。また、宗岡二中では部活動公開やふれあい祭り等も行われた。

○岩澤委員

給食は、文科省から黙食をしなくて良いとあったが、本市はどのような状況になっているか。また、小学3年生までは、給食の時に楽しいお話をして過ごすことを経験しておらず、急に解放されてもわからないので、ただ黙々と食べていると聞いたが、どんな状況か。

○島村教育政策部次長兼学校教育課長

学校にはマスクを外しても良いとお知らせしているがまだ難しく、できている学校でも、静かに食べて、食べ終わったらマスクをしてお話ししている状況で、マスクを取ってというところまでではない。外での活動でもマスクを外して良いとなっているが、大半が外していない。実際はもっと減ってこないかと思う。

就学支援委員会の答申について

○木村教育サポートセンター所長

令和4年度第3回就学支援委員会での答申について、11月17日と18日の2日間で審議を行い、結果が出たので報告する。詳細は資料のとおりである。就学に関する審議結果については、次年度小学校に入学予定で、教育サポートセンターと保護者面談をしているお子さんが対象となる。転籍に係る審議結果は、通級学級在籍者、支援学級在籍者の転籍・転学について審議したもの、通級指導教室に関する審議結果については、通級に適しているかの審議を行った結果を示している。審議には該当しないが、情報提供した就学予定児童については、幼稚園や保育園からの情報提供や、就学時健康診断の時に行動観察して気になったお子さんについて、文書で示したものである。この方たちについては、幼稚園や保育園から就学相談についてお話ししているが、相談に来ていないものになる。

○岩澤委員

審議に該当しないが、情報提供のあったお子さんについては、支援の必要とすることがわかっていて、これから学校も子どもも親御さんも悩まれる方も出て来ると思うが、ぜひサポートセンターが力になってほしいと思う。

○八代教育長職務代理者

行動観察した結果についてお示ししたといていたが、実際に面談した人はいたのか。

○木村教育サポートセンター所長

審議に該当しないが、知能検査の再検査に該当するお子さんは数人いた。再検査に来た方についてはサポートセンターに繋がっている方もいる。しかしながら、この段階では知能検査の結果が出ておらず、資料には加わっていないので、この資料の時点では、繋がっているお子さんはいない。ただ、相談員がコメントを残しているので、学校に伝わるようになっている。

事務局より、次回定例教育委員会の日程を確認する。

○柚木教育長

ほかになければ、これをもって令和4年12月定例教育委員会を閉会する。

教育長

会議録署名委員

(※署名は元本)